



地域医療連携室だより

VOL. 4

R2. 9

発行：(医)如水会今村病院 地域医療連携室 TEL 0942-87-1577 FAX 0942-87-1580

女性の大腸がん減少を目指して

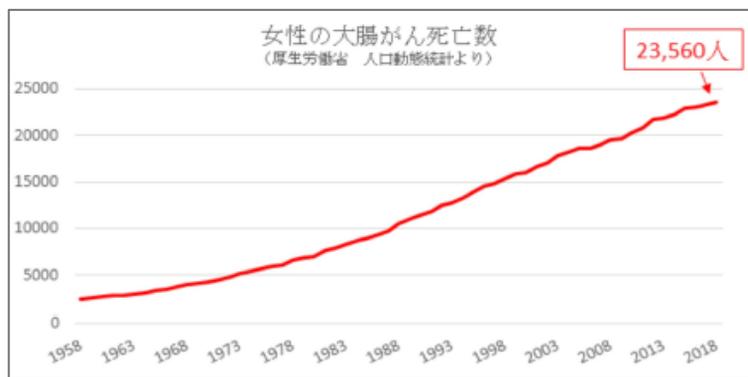
～内視鏡治療センター～

女性の大腸内視鏡検査増加プロジェクト

通称：ウーマンCS (WOMAN COLONOSCOPY) プロジェクト

女性の大腸がん死亡は年々増加、2018年には2万3千人を超え、女性のがんの死亡原因1位となっています。先生方ご存知の通り、大腸がんは、乳がんや子宮がんといった女性ホルモンが関係するがんと異なり、40歳を超えると罹患率が上昇します。予防策として大腸がん検診が行われておりますが2016年の検診率は佐賀県で33.8%、福岡県ではもっと低く29.4%と低迷しており検診に依存した方法では大腸がん死亡を減らすことはできないと考えられます。大腸がんは腺腫からがんに発育するため、

腫瘍の段階で切除すれば大腸がんを予防できることが証明されています。さらに、たった一度の大腸内視鏡検査 (COLONOSCOPY : CS) で大腸がん死亡率が6~7割減少するという報告もあり、40歳を超えたら大腸内視鏡検査を受けてもらうことで大腸がんを減らせるといえます。



女性のための「ウーマンCS (WOMAN COLONOSCOPY) プロジェクト」

大腸内視鏡検査の有用性は上記の通りですが、検査の前処置の手間や苦痛もさることながら、特に女性にとっては必要な検査にも関わらず、「恥ずかしいから」と敬遠されがちです。そこで当院では、女性の患者様は極力男性と接触しないように個室での女性スタッフ対応とし、またできるだけ苦痛が少なくなるような取り組みを「ウーマンCS (WOMAN COLONOSCOPY) プロジェクト」と題して実施しております。

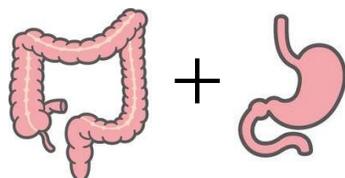
○女性限定で個室対応します！



○女性医師による内視鏡検査できます！

毎週木曜日に
女性医師 (日本消化器内視鏡学会専門医)
が検査を担当しています。

○胃カメラ・大腸カメラ同日施行できます！



○鎮静剤使用による苦痛のない検査できます！



かかりつけの患者様などで40歳以上で大腸検査をしたことがないという方がおられましたら、是非当院消化器内科へご紹介ください。